

S/F REAL 4

Q&A

【母屋】

あい ホールディングスグループ 

株式会社 ドットウェル ビー・エム・エス

DATA LOGIC

? 母屋・胴縁で登録したマスターを標準設定にしたい！

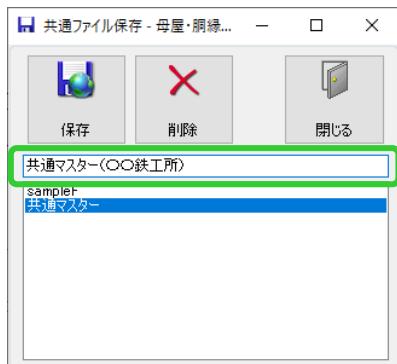
共通保存しておくと、新規工事作成時に選択可能です。

【母屋マスター】または【胴縁マスター】で部材やピースなどを登録後、

【ファイル】 - 【共通保存】をクリックします。

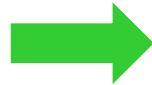


共通マスターの名称を入力し、保存します。



既存の『共通マスター』『sampleF』に上書き保存すると、バージョンアップのタイミングなどで内容が初期値に戻る可能性があります。
必ず名前を入力して共通保存を行ってください。

新規工事を作成する際に、【工事管理オプション】 - 【母屋・胴縁関連】で共通保存したマスターを選択します。
この作業は各パソコンで一度行って頂ければ初期値となり、次回から行う必要はありません。



共通化を行う前に作成した工事に共通保存したマスターを使用したい場合、

【工事管理オプション】 - 【母屋・胴縁関連】を選択し上書きにチェックを付ける、または【母屋・胴縁マスター】 - 【ファイル】 - 【共通読込】で保存したマスターを選択し読み込みを行います。

ただし、既に母屋・胴縁を配置している場合は、使用しているマスターが削除されるので行わないでください。

部品マスターで使用した部品を共通化したい！

母屋・胴縁マスター内で標準設定されている部品は登録可能です。

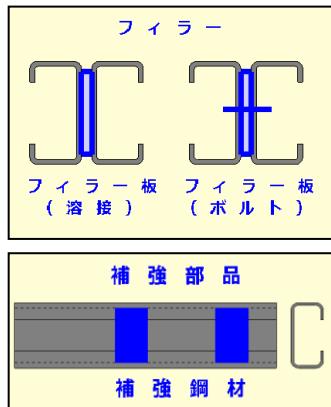
母屋・胴縁マスター - 部材マスター やピースマスターで使用しているフィラーや端部部品・補強部品は、

【母屋・胴縁マスター】 - 【ファイル】 - 【共通保存】で、部材・ピースと合わせて共通化します。

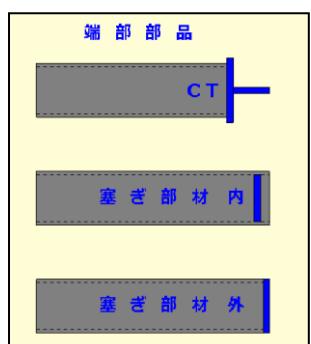


<部材マスターにて設定可能な部品>

部材名	D2W
管理名	
メモ	胴縁 背合せ
材種	5 - C形鋼
サイズ	100x50x20x2.3
材質FLG	4 - SSC400
定尺長さ(m)	12
鋼材組み合わせ	2 - I
組鋼オオキナ	6
フィラー	6 / PL-6x80 / 2G背合せ用
スチール位置	3 - 中心
端部部品	なし
補強部品	なし
支承ビース	PL6
接続ビース	PL6W
コーナーピース	PL6C
カラー設定フラグ	1 - しない

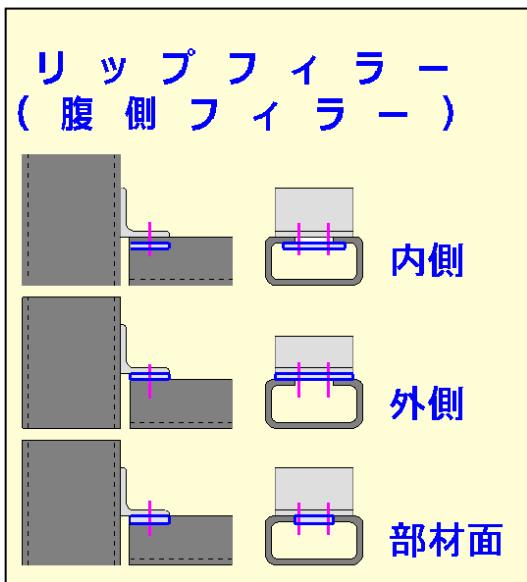
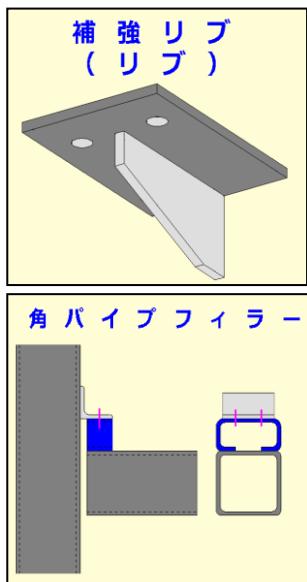


部材名	K102
管理名	
メモ	胴縁口
材種	17 - STKR
サイズ	100x100x2.3
材質FLG	60 - STKR400
定尺長さ(m)	12
ピース取付け位置	1 - 背
端部部品	CT / BT-96x100x6x6
補強部品	なし
支持ビース	PL6
接続ビース	PL6W
コーナーピース	PL6C
カラー設定フラグ	1 - しない



<ピースマスターにて設定可能な部品>

部材名	PL6
管理名	
メモ	
ピース種類	1 - 支持ビース
型紙・部品名生成方法	1 - 符号管理
材種	1 - プレート
サイズ	6
長さ	90
材質	1 - SS400
自動サイン用脚	2 - する
補強リブ	Rb / PL-6x100 / PLネコ補強用
補強リブ自動引抜調整	1 - しない
接続(ウェブ)	2 - ボルト接続
ボルト合わせ位置	0
PL接続長	0
PL形状	7 - パターン?
PL斜めの立ち上がり	0
スカラップ種類	1 - パラメーター
スカラップ径	0
立ち上がり	0
口形鋼拘束フック	3 - フィラーあり(全鋼材)
角パイプフィラー	100 / C-100x50x20x2.3
角パイプフィラー向き	1 - リップ内側
角パイプフィラーを回転	1 - しない
△印記(△印記は既存)マーク	3 - フィラーあり
リップフィラー	32 / PL-32x80 / PL3.2
ボルト種類	4 - BTN
ボルト貫通	2 - する
ボルト径	12



部材マスター やピースマスターで使用していない部品を共通部品マスターに登録したい場合は

【母屋・胴縁マスター】 - 【ファイル】 - 【共通保存】では共通化されないため、

部品マスターで**共通化**を行ってください。



角パイプに塞ぎ部材を入れたい！

「部品マスター」で作成できます。

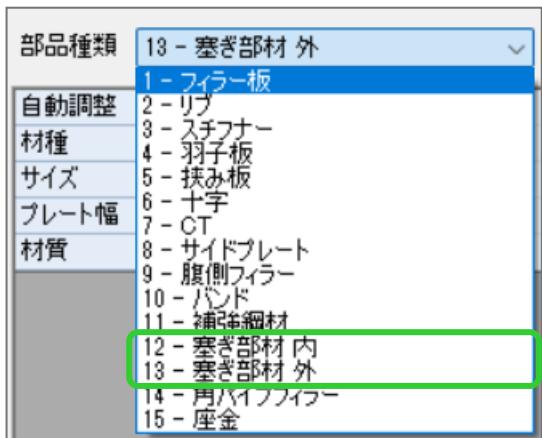
例) 胴縁に塞ぎ部材を設定する場合

【母屋・胴縁マスター】 - 【部品】をクリックします。



【部品种類】 - 【12.塞ぎ部材 内】または【13.塞ぎ部材 外】を選択し、以下のように設定します。

(今回は【13.塞ぎ部材 外】を選択します)



自動調整	2 - 自動設定
材種	1 - プレート
サイズ	6
プレート幅	0
材質	1 - SS400

【塞ぎ部材 外】の登録で、【自動調整】 - 【2-自動設定】を選択した場合は部材のサイズに合わせて塞ぎ部材の大きさが決まります。その際【プレート幅】の項目に数値を入力しても反映されません。

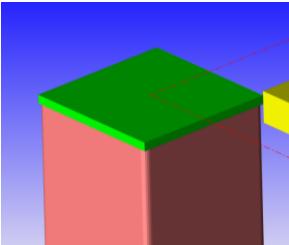
【母屋・胴縁マスター】 - 【部材】で塞ぎ部材を設定

したい部材を選択し、【端部部品】で【部品マスター】で作成した塞ぎ部材を選択します。

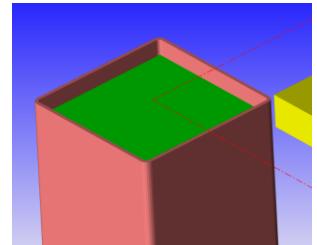


配置した母屋・胴縁に塞ぎ部材が反映されます。

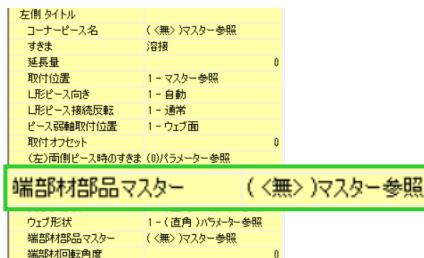
【塞ぎ部材 外】



【塞ぎ部材 内】



個別に端部部品の有無を設定する場合は母屋・胴縁の入力時または修正時に（上下）それぞれに設定が可能です。

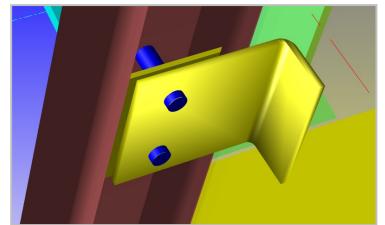


【塞ぎ部材 内】を登録する場合は、【端部の入り】で母屋・胴縁の端部からの入りの数値を設定する事ができます。

【塞ぎ部材】は母屋・胴縁のみ設定する事ができます。
梁、間柱の端部には設定できません。

リップ側フィラーの設定をしたい！

胴縁・母屋マスターで設定ができます。

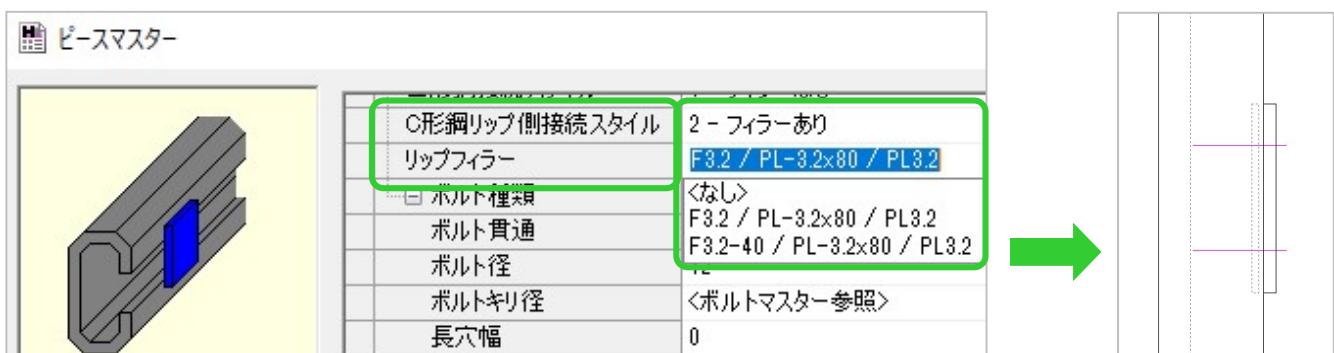


【胴縁】もしくは【母屋】タブにてマスターを開き、【ピースマスター】を開きます。

リップ側フィラーを設定したいピースの部材名をダブルクリックし、編集画面を開きます。

部材名	ピース種類	材種・サイズ	材質	メモ
N1	支持ピース	PL - 6x90	SS400	PL6-2
N1J	接続ピース	PL - 6x90	SS400	PL6-2
K1	コーナーピース	コネクタ - 55x40x3	SS400	KP2-30-3.2S

[C形鋼リップ側接続スタイル] を [2 - フィラーあり] と設定し、[リップフィラー] にフィラー板を設定すると、ピースがリップ側配置時にリップフィラーが配置されます。



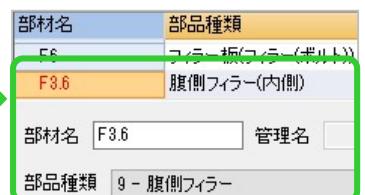
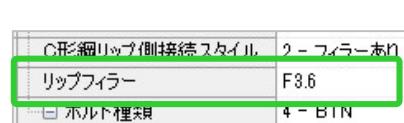
フィラー板の登録について

[リップフィラー] の項目で選択できるフィラー板は、あらかじめ【部品マスター】にて登録されています。別サイズを使用されるときは【部品マスター】で新規登録をしてください。



<ピースマスターで名前を付けてから部品マスターで登録する場合>

【ピースマスター】にて [リップフィラー] 項目へフィラー板部品名を新規入力した後、【部品マスター】で部品種類を [9 - 腹側フィラー] としてフィラー板を登録します。



既製品リップフィラーについて

現在、REAL4 では既製品のリップフィラーには対応しておりません。使用したい場合は、既製品に近い形を【部品マスター】にて作成し、[フィラー位置] は [3 - 部材面] を選択し、登録をしてください。

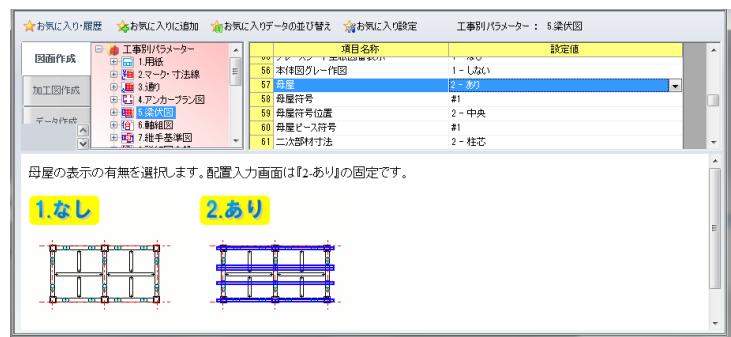


? 母屋割付図を作図したい！

梁伏図のパラメーターで設定出来ます。

【ファイル】 - 【パラメータ】 - 図面作成 - 5.梁伏図

56) 本体グレー作図～60) 母屋ピース符号 で
設定します。

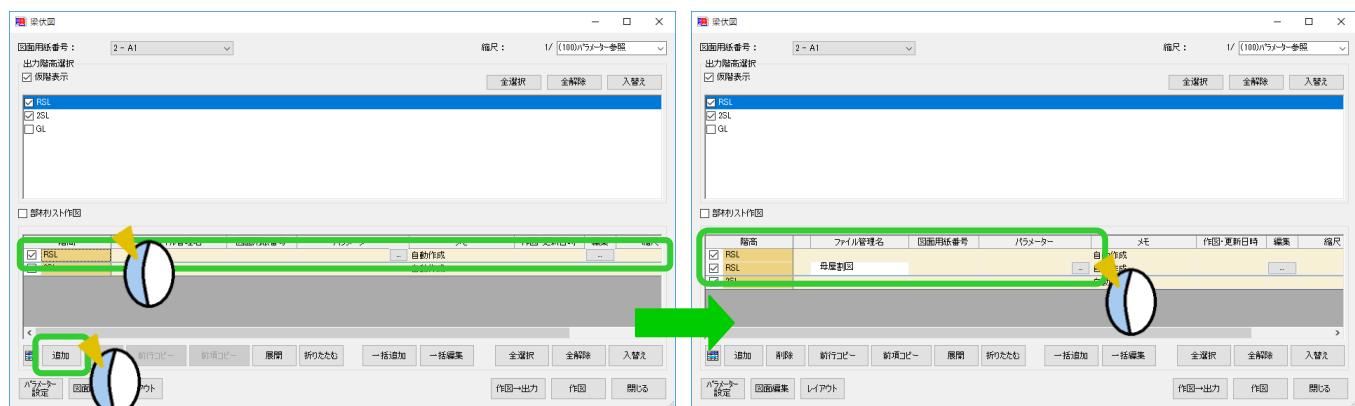


<「母屋割付なし」と「母屋割付あり」の梁伏図を同時に作図する方法>

【作図】 - 【梁伏図】を開き、母屋が配置されている階高を選択し、**追加**をクリックします。

追加した行の【ファイル管理名】に『母屋割図』など、母屋の有無が区別できるよう管理名を入力します。

パラメーター欄のをクリックすると指定表示設定が起動します。



全選択または必要なパラメーターのみにチェックを付け、個別にパラメーターを設定し、終了します。



使用例)

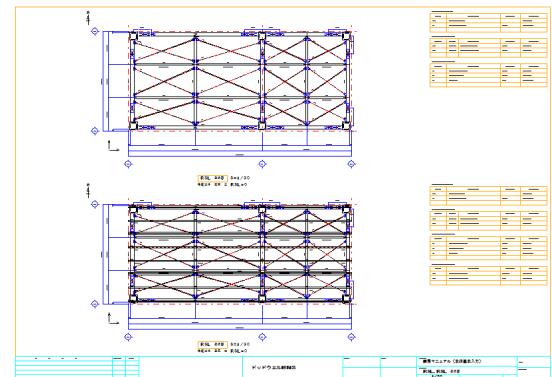
メインのパラメーターでは

57) 母屋 を 1-なしにし、

個別パラメーターで 2-ありで作図

作図または作図→出力を行うと、2種類の図面が同時に作図されます。

※右図はレイアウト設定で組合せ作図したものです

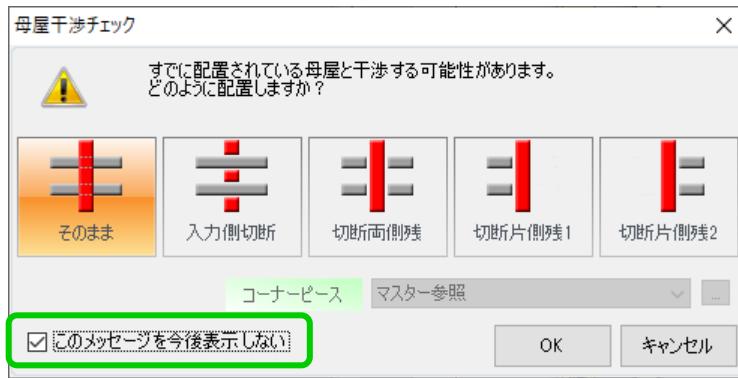


? 母屋・胴縁入力時の干渉チェックの画面が表示されなくなった！

画面左上の「ファイル」タブから設定できます。

母屋配置などを行うときに、部材同士が干渉する場合の処理方法を選択する画面です。

『このメッセージを今後表示しない』をチェックして処理を続行すると、次回より非表示になります。



【ファイル】 - 【表示】 - 【干渉チェック】をクリックし、表示のON/OFFを切り替えます。

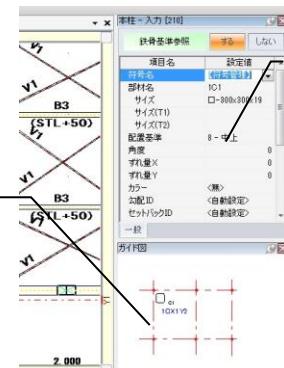


入力シート

入力シートの表示を切り替えます。

ガイド図

ガイド図の表示を切り替えます。



入力シート

ガイド図

次回起動時に表示しない (3Dビューアー)

3Dソリッドビューアー起動時に出力するデータ種類や階・工区を選択する画面の表示を切り替えます。



ON (干渉チェックを表示します)

OFF (干渉チェックを表示しません)

? 母屋加工図に溶接ピースが表示されない！ パラメーターで表示の有無を設定できます。

【パラメーター】 - 【加工図作成】 - 【33.母屋加工図】 - 28) 溶接接続部品 を参照します。

設定値を【2.する(1階層まで)】または【3.する(2階層まで)】に設定します。

項目名	設定値
25 加工図(下図)の鋼材描画向き	5 - 配置なり
26 溶接接続部材の追い寸表示	1 - 配置基準
27 背合わせ部材の隙間寸法表示	2 - あり
28 溶接接続部品の表示	2 - する(1階層まで)
29 鋼材に表示する部材名	1 - しない
30 部材配置方向矢印	2 - する(1階層まで)
31 「組立品」条件	3 - する(2階層まで)
32 左右反転集約	1 - しない
33 上下反転集約	1 - しない
34 符号名の考慮	2 - する
35 細鋼材の表示方法	1 - 組み合わせ[C]
36 切り欠き表示	2 - する
37 工区名集約	3 - 用紙ファイルに依存
38 塗装名集約	3 - 用紙ファイルに依存
39 分類名集約	3 - 用紙ファイルに依存

溶接接続情報(ピース、母屋、フライ)の表示の有無を選択します。|

『1.しない』:溶接ピース、溶接母屋、フライを表示しません。

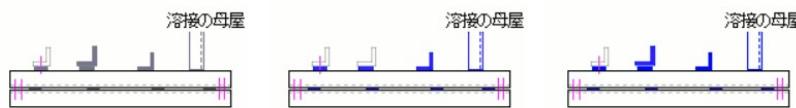
『2.する(1階層まで)』:溶接する母屋、ピースを表示します。フライが付く溶接ピースの場合 フライだけ表示します。

『3.する(2階層まで)』:溶接するもの全てを表示します。

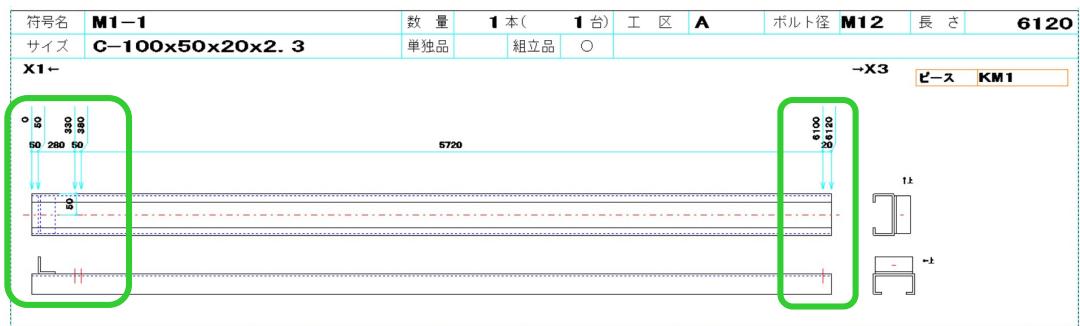
1.しない

2.する(1階層まで)

3.する(2階層まで)



<溶接接続部品を表示>



胴縁加工図の場合も同様にパラメーターで設定が可能です。

【32.胴縁加工図】 - 29) 溶接接続部品の表示 を設定してください。

項目名	設定値
25 加工図(上図)の鋼材描画向き	5 - 下図の上面
26 加工図(下図)の鋼材描画向き	5 - 配置なり
27 溶接接続部材の追い寸表示	1 - 配置基準
28 溶接接続部品の表示	2 - する(1階層まで)
29 鋼材に表示する部材名	1 - しない
30 部材配置方向矢印	2 - する(1階層まで)
31 「組立品」条件	3 - する(2階層まで)
32 左右反転集約	1 - しない
33 上下反転集約	1 - しない
34 符号名の考慮	2 - する
35 細鋼材の表示方法	1 - 組み合わせ[C]
36 切り欠き表示	2 - する
37 工区名集約	3 - 用紙ファイルに依存
38 塗装名集約	3 - 用紙ファイルに依存